

.....編集後記.....

◆今回は一般投稿原稿を中心に編集しましたが、鳥海山・雲仙岳・有珠山に関する報告が続き、火山関係の小特集号の感じも致します。約50万年以上の長い活動史をもち、今後とも噴火の可能性のある鳥海山、1663年以来度々噴火し、1977年の最新噴火では熱活動などの科学的火山観測が行われた有珠山、それに今なお極めて活動的な雲仙岳と個性豊かな大火山ばかりです。とくに、雲仙普賢岳の1990年以降の噴火活動については、地元の教師による貴重な報告の一部を掲載することができました。

◆今号には荒川下流を中心とする音波探査調査から、活断層の発見された興味深い報告も掲載されています。また、昨年出版された地質アトラス第2版の各主題図の概要、地質相談所・地質標本館の最近の話題なども担当者から紹介してもらいました。

◆毎年夏になると水道水の悪臭が問題になりますが、本誌では地理学者らの目から見た全国の名水百選の記事を北海道から順に紹介しています。今回は4回目となり、甲信越の名水を紹介してもらいました。読者の皆様もお近くの名水に出掛けられてはいかがでしょう。

磯部一洋 記

原稿募集中!

地質ニュースに寄稿される方へ

1. 地球科学各分野の最近の話題・総説・解説など多方面の原稿を募ります。
2. 原稿は図・表・写真を含め、原則として刷上がり15ページ以内とします。これをこえる場合は事務局に相談して下さい。地質ニュース原稿用紙(25×18字)4枚半が1ページに相当します。
3. ワードプロセッサ使用の場合も、A4判用紙に1行23字とし、行数は20-25行程度として下さい。
4. 句読点・引用符などもすべて1字として下さい。
5. 図・表・写真は本文とは別に1ページとして、それぞれに番号をつけるとともに、希望する掲載サイズを余白に記入して下さい。これらにつける説明文は、本文とは別の原稿用紙に書いて下さい。とくに図と写真は、縮小率を考え鮮明なものを提出して下さい。
6. 原稿の右欄外に図・表・写真の希望する挿入位置を鉛筆で記入して下さい。
7. 表紙やグラビアに用いるカラー写真は、プリント版の他に原版のポジ(スライド)を提出して下さい。プリント版のみの場合は、カビネ〜六切サイズ(表紙は六切)のものに限ります。
8. 原稿は事務局に提出して下さい。編集委員会から受付カードを発行します。掲載は原則として受付順としますが、速報性の高いものは優先的に印刷したいと思います。

<地質ニュース編集委員会>

購読者募集中 申し込みは編集委員会へハガキで

地質ニュース編集委員会

委員長: 小玉喜三郎

副委員長: 佐藤興平・磯部一洋

幹事: 宮崎光旗・奥村公男

委員: 今井 登・岡村行信・杉原光彦・石井武政・
内田利弘・花岡尚之・鈴木尉元・神谷雅晴・
吉井守正

事務局: 総務部業務課広報係(中島秀記・清水真寿美)

〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所

地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-54-3520

Fax. 0298-54-3533

地質ニュース

第466号 1993年6月号
定価 ¥ 770 円 実費

1993年6月1日 発行

編集
発行人
発行所

工業技術院地質調査所
林 久 雄
株式会社 実業公報社
東京都千代田区九段北1の7の8
〒102
Tel. (03)3265-0951 (代表)
振替口座 東京 1-32466
麹町局私書箱第21号
小宮山印刷工業株式会社

印刷

©1993 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞が関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター(株)本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文してください。

地質ニュースに対するご意見は編集委員会へ